

# 農薬飛散による健康被害を防ぎましょう

## 住宅地等における 農薬使用について

農薬は、植物の病気や害虫の防除、除草などにおいて有効な資材ですが、飛散すると人の健康に悪影響を及ぼすおそれがあります。特に、化学物質過敏症の方、化学物質に対する感受性の高い子どもや妊婦の方に**健康被害が生じないように配慮**することが大切です。

近年、学校、保育所、病院、公園、住宅地内及びその周辺で使用された農薬の飛散を原因とする、住民、子ども等の健康被害の訴えの事例が聞かれるようになってきました。

これらの場所やその周辺での、病虫害や雑草の防除は、まずは**農薬を使用しない方法**を考えましょう。

病虫害の発生状況を踏まえやむを得ず農薬を使用する場合は、周辺住民へ**事前に周知**など健康被害防止に努め、**周辺に飛散させない**ように最大限の配慮をしましょう。

特に注意を要する場所

学校、保育所、病院、公園、住宅地の敷地内とその周辺等の樹木、芝生、農地（家庭菜園を含む）



学校



樹木



芝生



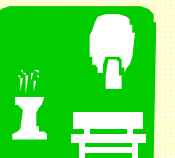
保育所



病院



農地（家庭菜園）



公園



住宅地

- 2 立て看板などを利用し、公園の散布区域では、散布後1日間は、樹木の葉から散布薬液が垂れる範囲内に、関係者以外の人が入らないようにしましょう。
- 3 可能な限り、病虫害が発生した部分だけの散布にしましょう。

人が入らないように工夫を



散布日以降も、散布したことを掲示しておくといでしょう

農薬散布した  
散布日の  
散布範囲  
で立ち入り禁止

立ち入り禁止

早朝の無風時に散布



- 4 早朝など無風または風が弱いときに散布を行い、散布時は常に風向きやノズルの向き等に注意しましょう。
- 5 農薬使用後は、使用履歴（年月日、場所、対象植物、使用農薬名、使用量、希釈倍数）を記帳し、一定期間保管しましょう。

農薬散布により、次のような健康影響が出るおそれがあります。

めまい、吐き気、頭痛、全身の疲労感など

参考：「農薬中毒の症状と治療法 第13版（農林水産省監修）」 農薬工業会発行

農薬工業会のホームページアドレス <http://www.jcpa.or.jp/>

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、最寄りの医療機関にご相談ください。

健康相談は、最寄りの県保健所でも行っています。

### 公園、街路樹等の樹木類に対する病虫害防除の参考資料

「公園・街路樹等病虫害・雑草管理マニュアル」

（環境省 水・大気環境局土壌環境課 農薬環境管理室）

[http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/hisan\\_risk/manual1\\_kanri.html](http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/hisan_risk/manual1_kanri.html)

「樹木等の病虫害防除の手引」（社団法人 緑の安全推進協会）

<http://www.midori-kyokai.com/pdf/jyumoku-tebikiB.pdf>

農薬の適正使用に関する問い合わせ先

最寄りの農林水産事務所農業改良普及課

尾張農林水産事務所農業改良普及課	052-961-7211(代)	豊田加茂農林水産事務所農業改良普及課	0565-32-7361
同課	稲沢駐在室 0587-21-2511	新城設楽農林水産事務所農業改良普及課	0536-62-0546
海部農林水産事務所農業改良普及課	0567-65-4312	同課	新城駐在室 0536-23-2111(代)
知多農林水産事務所農業改良普及課	0569-21-8111(代)	東三河農林水産事務所農業改良普及課	0532-63-3529
西三河農林水産事務所農業改良普及課	0566-76-2400	同	田原農業改良普及課 0531-22-0381
同課	岡崎駐在室 0564-53-1552		
同課	西尾駐在室 0563-57-4154		

農林水産部農業経営課 環境・植防グループ 電話 052-954-6411（ダイヤルイン）（2010.07版）

# 住宅地等に近接する 樹木、芝生、農地（家庭菜園を含む）及び公園等における病害虫防除

病害虫の発生や被害の有無にかかわらず 定期的に農薬を散布することはやめましょう  
 まず、農薬を使用しない方法を考えましょう

## 病害虫対策の基本

- 発生予防
  - 枝葉が混み合っていると、通風や日当たりが悪くなり病害虫が発生しやすくなるので、間引きや剪定を行いましょ。
  - 落ち葉や枯れ枝は病害虫の越冬場所や伝染源となるので、これらを取り除きましょう。
- 早期発見
 

病害虫の被害は、毎年同じ時期に同じ場所で発生することが多いので、よく観察して早期発見に努めましょう。
- 早期防除
 

病害虫を発見した場合、出来るだけ早く害虫を捕まえて処分したり、加害部の切り取り処分などを行いましょ。

## 樹木の病害虫防除

### 捕殺・枝葉の切り取り

卵、幼虫などを見つけたら、すぐにつぶすか捕まえて処分しましょ。  
 また、害虫がついた枝や葉を切り取り、処分しましょ。  
 （チャドクガは幼虫、成虫、抜け殻のいずれも強力な毒針毛を持っていますので、素手でふれてはいけません。）

### たいまつによる焼却

金属棒を利用してたいまつを作り、これを利用して毛虫を焼きましょう。ただし、火災には十分に注意しましょ。

### ブラシ・竹べらなどによるはぎ取り

カイガラムシ類は動かないので、ブラシや竹べらを利用してはぎ取りしましょ。

### こも巻き

マツカレハにはこも巻きを行い、越冬幼虫を集めて処分しましょ。

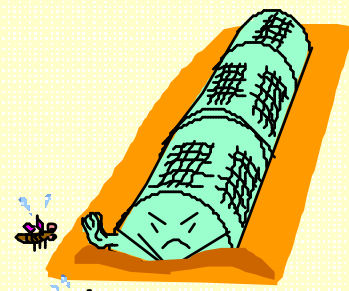


たいまつで焼却

## 農作物の病害虫防除

病害虫に強い品種を選びましょ。

防虫ネットやマルチの使用など物理的な防除方法を利用しましょ。



防虫ネットを利用

## 雑草防除

こまめな手取りや刈り払い機による刈取りを行いましょ。



こまめに草取り

## 農薬を使用する場合に配慮すること

必ず、登録のある農薬を使いましょ。  
 ラベルに「農林水産省登録第 号」と表示されています。  
**農薬の使用に当たっては、ラベルの記載内容を守りましょ。**

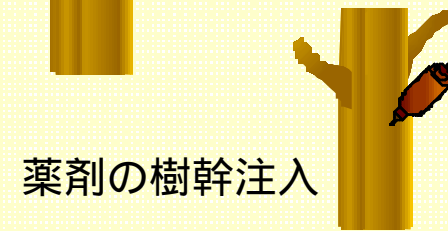
誘殺、塗布、樹幹注入、粒剤施用など、まず散布以外の方法を検討しましょ。



誘引トラップの設置



薬剤の塗布



薬剤の樹幹注入



粒剤の施用  
 粒剤であっても飛散しないよう十分に注意しましょ。

やむを得ず農薬散布する場合は、最小限の区域とし、次のことを守りましょ。

- 散布者（あるいは散布を依頼した者）は、事前に周辺住民に、散布目的、日時、農薬の種類、散布者名（連絡先）などを周知しましょ。特に、近くに学校や通学路がある場合は、学校や保護者へも周知しましょ。

### 関係者への通知例（学校の場合）

殺虫剤散布のお知らせ	
日時	月 日 午前 時~午前 時(予定)
場所	校庭の東側(サクラの木 10本)
害虫の状況	毛虫(アメリカシロヒトリ)が大量発生
散布殺虫剤	乳剤(ピレスロイド系) 4000倍希釈液 約100リットル
次の気象条件の場合、散布を延期あるいは中止しましょ	
雨が降っている	雨の予報が高確率である
強い風が吹いている	近隣に影響を及ぼす風向きである
散布を実施した場合は	
週末の校庭開放は中止しましょ	
日までは散布した木の下で遊ばないでください	
校庭で遊んだあとは、せっけんで手をよく洗い、うがいしましょ	
めまい、吐き気、頭痛などの症状がでる可能性があります。散布場所に近づいて気分が悪くなった場合には、離れて新鮮な空気を吸いましょ	
安全管理責任者	小学校 校長
作業責任者	造園(株) 電話XXX-XXXX

